



環境経済・政策学会 2005 年大会

学会設立 10 周年記念特別シンポジウム

テーマ「これからの環境経済・政策研究—その課題と方法」

環境経済・政策学会 2005 年大会 スケジュール

会 場 早稲田大学西早稲田 キャンパス 14 号館	9 日(日)午前の部 9:00～12:30	9 日(日)午後の部 13:30～17:00	10 日(月)午前の部 9:00～12:30
A:401 講義室	A-1 地球温暖化問題とその対策(1)	A-2 地球温暖化問題とその対策(2)	A-3 地球温暖化問題とその対策(3)
B:402 講義室	B-1 環境政策・制度の評価・比較(1)	B-2 環境政策・制度の評価・比較(2)	B-3 環境政策・制度の評価・比較(3)
C:404 講義室	C-1 技術革新と環境保全	C-2 環境経済理論(1)	C-3 環境経済理論(2)
D:403 講義室	D-1 アジアおよび途上国の環境問題(1)	D-2 アジアおよび途上国の環境問題(2)	D-3 アジアおよび途上国の環境問題(3)
E:405 講義室	E-1 アジアおよび途上国の環境問題(4)	E-2 環境保全意識とライフスタイル	E-3 公共事業(社会資本整備)と環境政策
F:604 講義室	F-1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(1)	F-2 循環型社会・廃棄物・リサイクル(2)	F-3 循環型社会・廃棄物・リサイクル(3)
G:515 講義室	G-1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(4)	G-2 環境情報と環境保全	G-3 ミクロ・メゾ・マクロ環境会計とその関連
H:501 講義室	H-1 環境評価と環境資源勘定(1)	H-2 環境評価と環境資源勘定(2)	H-3 環境評価と環境資源勘定(3)
I:502 講義室	I-1 環境経営・環境会計・環境監査(1)	I-2 環境経営・環境会計・環境監査(2)	I-3 環境経営・環境会計・環境監査(3)
J:505 講義室	J-1 環境問題と国際政治・法・経済(1)	J-2 環境問題と国際政治・法・経済(2)	
K:514 講義室	K-1 環境リスク	K-2 エネルギー・資源と環境(1)	K-3 エネルギー・資源と環境(2)
L:407 講義室	L-1 環境政策の国際比較・国際環境協力(1)	L-2 環境政策の国際比較・国際環境協力(2)	L-3 持続可能な発展
M:408 講義室	M-1 アメニティと農業	M-2 英語セッション	M-3 地域資源管理
N:101 講義室	会員控え室		
理事会	第 1 回 10 月 8 日(土) 18:00～21:00 14 号館 8 階 801 会議室 第 2 回 9 日(日) 12:30～13:30 14 号館 10 階 1040 会議室 第 3 回 10 日(月) 12:30～13:30 14 号館 8 階 801 会議室		

10 日(月)午後の部 13:30～17:00	公開シンポジウム 201 講義室 学会設立 10 周年記念特別シンポジウム「これからの環境経済・政策研究—その課題と方法」
----------------------------	--

9 日(日) 17:30～18:15	学会総会 201 講義室
9 日(日) 18:30～	懇親会 リーガロイヤルホテル 〒169-8613 東京都新宿区戸塚町 1-104-19 TEL : (03)5285-1121

大会事務局	早稲田大学政治経済学部栗山研究室 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1 早稲田大学政治経済学部 TEL/FAX 03-5286-9822、kkuri@waseda.jp
-------	--

注:大会プログラムは変更になることがあります。最新のプログラムについては学会ウェブサイト参照してください。

学会ウェブサイト <http://wwwsoc.nii.ac.jp/seeps/>

※午前 8:30 より受付開始

10月9日(日) 午前の部 第1部 報告 9:00~11:20 第2部 総合討論 11:30~12:30

A-1 地球温暖化問題とその対策(1) Room A

座長:柴田弘文(前関東学園大学) 討論者:山口光恒(帝京大学)、明日香壽川(東北大学)

- 1 CO2 温暖化説は間違っている。よって、温暖化対策事業は中止させるべきである
○植田敦(名城大学経済学部)
- 2 公平性を考慮したポスト京都議定書における温室効果ガス排出量削減目標に関する考察
○相沢智之(東京工業大学)、中根英昭(国立環境研究所)、志甫諒(東京工業大学)
- 3 2050年脱温暖化社会構築に向けたシナリオアプローチに関する研究
○藤野純一(国立環境研究所)、増井利彦(国立環境研究所)、日比野剛(みずほ情報総研)、松岡譲(京都大学)、甲斐沼美紀子(国立環境研究所)
- 4 気候変動の世界地域別寄与度とブラジル提案(2)
○黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)、友田利正(地球環境産業技術研究機構)
- 5 An Option of Financing CDM Projects in China
○森晶寿(京都大学)
- 6 ポスト京都議定書の枠組み
○山口光恒(帝京大学)

B-1 環境政策・制度の評価・比較(1) Room B

座長:柳下正治(上智大学) 討論者:羅星仁(広島修道大学)、諸富徹(京都大学)

- 1 再生可能エネルギーの普及対策に関する国際比較
○丹野裕貴(長岡技術科学大学大学院経営情報システム工学専攻)、李志東(長岡技術科学大学)
- 2 企業の意思決定に対する州レベルの規制の影響の実証分析:米国排出承認取引制度を事例に
有村俊秀(上智大学)、○堤達平(環境省)
- 3 都市における環境コミュニケーションの定量評価手法に関する検討
永田勝也(早稲田大学)、納富信(早稲田大学)、小野田弘士(早稲田大学)、○河合浩利(早稲田大学)、梶原順(早稲田大学)、金子正(早稲田大学)
- 4 Sustainable Cityを実現するためのまちづくりにおける環境政策統合:欧州の取組みを事例に
○吉積巳貴(京都大学)
- 5 水環境保全分野における経済的手法活用の可能性について
○大森恵子(環境省地球環境局)
- 6 韓国の環境政策をめぐる考察—排出賦課金・環境改善賦課金を中心に—
○千暎娥(立命館大学)、李態妍(龍谷大学)、朴勝俊(京都産業大学)

C-1 技術革新と環境保全 Room C

座長:石川雅紀(神戸大学) 討論者:上園昌武(島根大学)、浜本光紹(獨協大学)

- 1 持続可能な発展論と技術分析
○氏川恵次(横浜国立大学)
- 2 Is There an Increasing Returns to Pollution Abatements?
馬奈木俊介(横浜国立大学)、○河野由紀子(東京農工大学)
- 3 環境マネジメントシステムの導入が生産性に与える影響
○中野牧子(神戸大学)、馬奈木俊介(横浜国立大学)
- 4 環境規制とイノベーション・ネットワークの共進化:日米欧における鉛フリーはんだの開発
○鎗目雅(文部科学省科学技術政策研究所)
- 5 排出ガス規制が自動車産業における企業のR&Dと生産性へ及ぼす影響に関する実証研究
日引聡(東京工業大学/国立環境研究所)、有村俊秀(上智大学)、○竹葉直人(フューチャーシステムコンサルティング)

グ株式会社)

- 6 大規模水稲不耕起栽培成立の経営経済条件についての検討
○小池恒男(滋賀県立大学)

D-1 アジアおよび途上国の環境問題(1) Room D

座長:小島道一(アジア経済研究所) 討論者:竹歳一紀(桃山学院大学)、江崎光男(名古屋大学)

- 1 一時的貧困と環境破壊:西アフリカの砂漠化の事例
○櫻井武司(農林水産政策研究所)
- 2 二重構造を残した経済発展が環境に及ぼす影響(中国雲南省・テン池)
○濱口航(東京大学)、岡本勝男(農業環境技術研究所)、新藤純子(農業環境技術研究所)、和愛軍(東京大学)、川島博之(東京大学)
- 3 A Simultaneous Estimation of Environmental Kuznets Curve: Evidence from China
○沈俊毅(大阪大学)
- 4 Environmental Productivity, FDI, and Policies in China
○馬奈木俊介(横浜国立大学)、金子慎治(広島大学)

E-1 アジアおよび途上国の環境問題(4) Room E

座長:寺西俊一(一橋大学) 討論者:松岡俊二(広島大学)、陳禮俊(山口大学)

- 1 ~~フィリピンラダグナ湖における窒素フローモデルの作成~~
○~~田中寿典(東京大学)~~ (報告キャンセル)
- 2 タイの住民参加型環境援助とその効果—ローカルアジェンダ 21 作成支援を中心に—
○空田(礪波)亜希(京都大学)
- 3 アジアにおける水道事業の効率性比較に関する研究
○白川博章(名古屋大学)、金子慎治(広島大学)、常杪(中国精華大学)
- 4 上海市における道路交通政策
○兒山真也(兵庫県立大学)
- 5 環境研究に対する人間開発指数の貢献
○野上裕生(日本貿易振興機構アジア経済研究所)

F-1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(1) Room F

座長:吉田文和(北海道大学) 討論者:鹿島茂(中央大学)、碓井健寛(北星学園大学)

- 1 日本から中国への循環資源輸出—輸出状況に関するアンケート調査
○吉田綾(東京大学)、荒巻俊也(東京大学)、花木啓祐(東京大学)
- 2 日本・中国間における廃プラスチックのマテリアルフロー
○寺園淳(国立環境研究所)、吉田綾(東京大学)、森口祐一(国立環境研究所)、村上進亮(国立環境研究所)、阿部直也(国立環境研究所)
- 3 廃棄物の日中循環システムに関する研究(副題:日本の使用済みパソコンのリサイクルに関する研究)
○島田慶資(長岡技術科学)、李志東(長岡技術科学大学)、藤本淳(東京大学)、梅田靖(大阪大学)、中村一彦(東京大学)、近藤伸亮(産業技術総合研究所)
- 4 廃棄物貿易における経済的手法の有効性
○南部和香(明治大学)
- 5 アメリカにおける鉛バッテリーデポジット制度について
○沼田大輔(神戸大学)
- 6 容器包装廃棄物の減量に向けての政策手段の実効性に関する研究—使い捨て製品の直接規制手段を中心として—
○申東愛(北九州市立大学)

G-1 循環型社会・廃棄物・リサイクル(4) Room G

座長:酒井伸一(京都大学) 討論者:山下英俊(一橋大学)、笹尾俊明(岩手大学)

- 1 廃棄物の需給構造と価格調整の解明
○大窪和明(東北大学)
- 2 リサイクル政策の経済評価について—一般廃棄物セメント資源化の費用便益分析—
○望月俊哉(神奈川県)
- 3 廃棄物処理システムのLCA・LCC評価
永田勝也(早稲田大学)、納富信(早稲田大学)、小野田弘士(早稲田大学)、片野光裕(早稲田大学)、○風間祥吾(早稲田大学)、金子正(早稲田大学)、長田守弘(新日本製鐵)
- 4 サステイナブルな環境指標としての「ごみマイレージ」の構築
○花嶋温子(大阪産業大学)

H-1 環境評価と環境資源勘定(1) Room H

座長:加藤尊秋(東京工業大学) 討論者:庄子康(北海道大学)、上田昌史(関西大学)

- 1 生物遺伝資源の経済価値
○宮崎正浩(独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- 2 農業での環境負荷削減技術の評価手法
○黒澤(松本)美幸(京都大学)、手塚哲央(京都大学)
- 3 ダッカにおける大気汚染による健康被害の推計とその経済評価について
○島田幸司(立命館大学)、Md. Murshid Aktar(立命館大学)
- 4 環境評価における選好の相互依存性の影響
○奥山忠裕(東北大学)
- 5 グリーン電力プログラムに対する潜在的需要とその顕在化政策
○酒井正治(日本総合研究所)、竹内憲司(神戸大学)

I-1 環境経営・環境会計・環境監査(1) Room I

座長:國部克彦(神戸大学) 討論者:梨岡英理子(環境管理会計研究所)、富増和彦(奈良産業大学)

- 1 中小企業の環境対策が環境保全および経済活動に及ぼす影響に関する分析
○伊藤綾子(三菱総合研究所)、増井利彦(国立環境研究所)
- 2 グリーン調達が中小企業に及ぼす影響に関する実証分析:機械・金属業のケース
○在間敬子(専修大学商学部)
- 3 企業の環境パフォーマンス評価:測定モデルと新しい基準
○早瀬光司(広島大学)、謝双玉(広島大学)、友田喬子(広島大学)
- 4 企業における環境経営度指標の構築と環境格付に関する研究
○周帥(広島大学)、榊原紗緒里(広島大学)、謝双玉(広島大学)、早瀬光司(広島大学)
- 5 Information Provision Policy and Financial Market
○日引聡(国立環境研究所)、馬奈木俊介(横浜国立大学)、川尻裕啓(横浜国立大)
- 6 環境行動と経路依存性
○金原達夫(広島大学)、金子慎治(広島大学)、藤井秀道(広島大学)

J-1 環境問題と国際政治・法・経済(1) Room J

座長:伴金美(大阪大学) 討論者:和気洋子(慶應義塾大学)、藤田康範(慶應義塾大学)

- 1 WTOと食品安全性
○山川俊和(一橋大学大学院経済学研究科)
- 2 生物多様性条約に基づく遺伝資源のアクセスと利益配分課題に関する金銭的利益配分最大化条件
○林希一郎(三菱総合研究所)

- 3 資源・環境問題の政策的相互連関：国際捕鯨規制にみる垂直的インターリンケージの事例分析
○大久保彩子(海洋政策研究財団)
- 4 Effects of Input Price Discrimination on Environmental Regulation
○松本茂(関西大学)、菅田一(関西大学)
- 5 International Trade, Economic Growth and the Environment
馬奈木俊介(横浜国立大学)、○鶴見哲也(東京大学)

K-1 環境リスク Room K

座長：岡敏弘(福井県立大学) 討論者：竹内憲司(神戸大学)、岸本充生(産業技術総合研究所)

- 1 JGSS-2002 によるアレルギー疾患要因のコンテクスチュアル分析
○小島宏(国立社会保障・人口問題研究所)
- 2 日本の環境保険マーケットの現状分析
○桑名謹三(上智大学)
- 3 Housing Market and the PRTR
日引聡(国立環境研究所)、馬奈木俊介(横浜国立大学)、○川尻裕啓(横浜国立大学)
- 4 順応的環境リスク管理のリアルオプション分析
○牧野光琢(水産総合研究センター中央水産研究所)

L-1 環境政策の国際比較・国際環境協力(1) Room L

座長：新澤秀則(兵庫県立大学) 討論者：松下和夫(京都大学)、新澤秀則(兵庫県立大学)

- 1 都市の大気汚染対策における社会的能力の検証～社会的能力を構成する要素に係る実証分析～
○村上一真(広島大学)、松岡俊二(広島大学)
- 2 カナダにおける温暖化対策施策の現状と問題点
○高橋信吾(三菱総合研究所)
- 3 カナダの環境外交：越境大気汚染管理を事例に
○高橋若菜(宇都宮大学)
- 4 市民参加が交通計画の環境配慮に及ぼす影響について-オランダの事例より-
○須田あゆみ(京都大学)
- 5 米国・EU の気候変動政策の乖離とその含意
○松下和夫(京都大学)

M-1 アメニティと農業 Room M

座長：川島博之(東京大学) 討論者：川島博之(東京大学)、岩田伸人(青山学院大学)

- 1 エコロジカル経済学の思想的背景
○倉阪秀史(千葉大学法経学部)
- 2 エコロジー経済が支持する環境指標：インプットの側面から
○八塚みどり(京都大学)
- 3 都市のアメニティをどう扱うか～公共政策としての都市計画に向けて～
○辰巳康夫(大阪大学)、橋本介三(大阪大学)
- 4 遺伝子汚染と脅かされる農民特権—遺伝子組換え作物をめぐる特許権と反コモンズの悲劇—
○平木隆之(北海道東海大学)
- 5 中山間地域における「持続可能な農業システム」に関する研究—環境資源としての棚田の維持管理体制の現状と課題
○保田祐子(立命館大学)、小幡範雄(立命館大学)、藤山浩(島根県中山間地域研究センター)

10月9日(日) 午後の部 第1部 報告 13:30～15:50 第2部 総合討論 16:00～17:00

A-2 地球温暖化問題とその対策(2) Room A

座長:後藤則行(東京大学) 討論者:増井利彦(国立環境研究所)、森俊介(東京理科大学)

- 1 微分ゲームによる地球温暖化対策のシミュレーションー資源管理、気候変動、炭素循環変動の3層モデルー
○山形与志樹(国立環境研究所)、中村仁也(みずほ情報総研株式会社)
- 2 TsuBiMo-Economica による土地利用変化の予測
○木下嗣基(国立環境研究所)、山形与志樹(国立環境研究所)
- 3 わが国の炭素削減策導入時に生じる影響の地域間比較に関する分析
○盛雄一郎(東京工業大学)、増井利彦(国立環境研究所)
- 4 日本における効果的な炭素税制度のあり方とその評価
○石橋亮太(東京工業大学)、増井利彦(国立環境研究所)
- 5 京都議定書遵守による国際的産業構造変化と炭素リーケージ:動学的応用一般均衡モデルによる分析
○爲近英恵(大阪大学)、伴金美(大阪大学)
- 6 応用一般均衡分析による帰属価格の概念に基づく炭素税の効果分析
○松本健一(関西学院大学)

B-2 環境政策・制度の評価・比較(2) Room B

座長:天野明弘(地球環境戦略研究機関) 討論者:有村俊秀(上智大学)、秋田次郎(東北大学)

- 1 エネルギー・サステナビリティとエネルギー税制改革
○李秀澈(名城大学)
- 2 気候変動政策とポリシー・ミックス論
○諸富徹(京都大学)
- 3 産業連関分析による温暖化対策税の再検討ー家計の所得階層別・地域別負担ー
○渡邊隆俊(愛知学院大学)、下田充(帝塚山大学)
- 4 日本電力会社のCO2 限界削減費用導出と排出権取引市場分析
○東愛子(京都大学)
- 5 実験経済学的手法による地球温暖化防止のための国内制度設計
○赤井研樹(大阪大学)、草川孝夫(広島修道大学)、西條辰義(大阪大学)

C-2 環境経済理論(1) Room C

座長:鷲田豊明(上智大学) 討論者:大沼あゆみ(慶應義塾大学)、西村和彦(日本福祉大学)

- 1 ヒートアイランドによる都市温暖化対策のための《都市涼化》モデル分析
○佐藤公敏(立教大学)
- 2 環境浄化のインセンティブ設計
○山本芳弘(京都大学)、前田章(京都大学)、手塚哲央(京都大学)
- 3 The Public Abatement Model: Pollution versus Other Taxes
○生原匠(神戸大学)
- 4 A Trade-off between Abatement Costs and Enforcement Costs
○塩田尚樹(獨協大学)
- 5 Some Effects of Deposit-Refund System on Producers and Consumers
大沼あゆみ(慶應義塾大学)、○斉藤崇(慶應義塾大学)
- 6 地球温暖化によるカタストロフ・リスクを考慮した動学的一般均衡モデルの構築
○中嶋一憲(東北大学)、林山泰久(東北大学)、森杉壽芳(東北大学)

D-2 アジアおよび途上国の環境問題(2) Room D

座長:松岡俊二(広島大学) 討論者:藤川清史(甲南大学)、増田信彦(富山大学)

- 1 台湾におけるエネルギー環境教育に関わる政策の近年の展開
○萩原豪(学習院大学)

- 2 日中 CDM プロジェクト実施のポテンシャル
○于軍(立命館大学)
- 3 アジア地域における、温室効果ガスインベントリの精度向上に影響の大きい主要排出・吸収源区分
○梅宮知佐(国立環境研究所)、相沢智之(国立環境研究所)
- 4 Econometric Study On Energy Strategy of Malaysia to the year 2030
○ガンベックイエン(長岡技術科学大学)、李志東(長岡技術科学大学)
- 5 気候変動分野における途上国の主体的取組の促進と我が国の協力
竹本和彦(環境省)、加藤真(海外環境協力センター)、○二宮康司(環境省)

E-2 環境保全意識とライフスタイル Room E

座長:長谷川公一(東北大学) 討論者:小林紀之(日本大学)、根本志保子(日本大学)

- 1 環境保全型農業技術の普及・定着条件と農民意識ーベトナム・メコンデルタにおける酸性硫酸塩土壌問題を事例にー
○山下哲平(日本大学)、松本礼史(日本大学)、水野正己(日本大学)、半澤和夫(日本大学)
- 2 越境型環境問題の解決に資する協調社会の形成可能性ー東アジアを例として
○鄭躍軍(総合地球環境学研究所)、松川太一(総合地球環境学研究所)
- 3 ドイツにおける環境共生団地の開発コンセプトと我が国の学ぶべき政策
○広松猛(広島国際大学)
- 4 再生可能資源の消費行動に関する環境教育の長期的効果-現在偏重型選好を有する個人に対する数値解析によるシミュレーション-
○稲垣雅一(東北大学)
- 5 環境情報政策の政策評価ーエコマーク事業の中心性分析
○平原隆史(京都大学)
- 6 環境・家計勘定の提案とわが国への適用
金森有子(京都大学)、○藤原健史(京都大学)、松岡譲(京都大学攻)

F-2 循環型社会・廃棄物・リサイクル(2) Room F

座長:森口祐一(国立環境研究所) 討論者:外川健一(九州大学)、浅妻裕(北海学園大学)

- 1 リサイクルしやすい車の開発は進んでいるのだろうか?
外川健一(九州大学)、○木村眞実(九州大学)
- 2 自動車リサイクルにおける事前選別処理品目の行方- バッテリー・タイヤ・廃油のリサイクル-
○中谷勇介(一橋大学)、阿部新(一橋大学)、平岩幸弘(一橋大学)
- 3 自動車用鉛バッテリーのリサイクル・廃棄フロー推定
○平井康宏(国立環境研究所)、酒井伸一(京都大学一)
- 4 自動車エアバッグ類のリサイクルシステムの現状と課題
外川健一(九州大学)、○野見山里恵(九州大学)
- 5 廃棄物と処理責任の範囲に関する一考察:自動車の事例から
○阿部新(一橋大学)

G-2 環境情報と環境保全 Room G

座長:亀山哲(国立環境研究所) 討論者:相崎守弘(島根大学)、西尾チヅル(筑波大学)

- 1 過去10年間における日本の環境をめぐる世論の動きと新聞報道
○栗林敦子(ニッセイ基礎研究所)、青柳みどり(国立環境研究所)
- 2 オンラインショップにおける商品の環境情報表示と今後の可能性について
○韓英珍(九州大学)、近藤加代子(九州大学)
- 3 環境統計・情報の整備実態と課題に関する考察
○阿部直也(国立環境研究所)、村上進亮(国立環境研究所)、森口祐一(国立環境研究所)

- 4 Web-GISを活用した流域管理データベースの構築～住民参加型の水質調査をベースにした情報共有の推進
○藤山浩(島根県中山間地域研究センター)、中山大介(島根大学汽水域研究センター)
- 5 サハリン沖の油流出事故を想定したオホーツク沿岸都市における漁業被害推定－ナホトカ重油流出事故の教訓から－
○後藤真太郎(立正大学)、濱田誠一(北海道立地質研究所海洋地学部)、沢野伸浩(星稜女子短期大学)、佐尾邦久(海洋工学研究所)、佐尾和子(海洋工学研究所)

H-2 環境評価と環境資源勘定(2) Room H

座長: 吉田謙太郎(筑波大学) 討論者: 栗山浩一(早稲田大学)、柘植隆宏(高崎経済大学)

- 1 コンジョイント分析による都市公園の経済的評価
○田中勝也(広島大学)、河野公彦(アマタ株式会社)、松岡俊二(広島大学)
- 2 ペアワイズ評定型コンジョイント分析を用いたプラスチックごみ分別収集の社会経済的評価
○中谷隼(東京大学)、荒巻俊也(School of Environment, Resources and Development, Asian Institute of Technology)、花木啓祐(東京大学)
- 3 被験者実験アプローチによる環境評価手法の検討－霞ヶ浦における絶滅危惧種の保全対策を事例として－
○三谷羊平(早稲田大学)、栗山浩一(早稲田大学)
- 4 Warm Glow or Helping Hand?: An Experimental Examination of Incentive Compatibility in a One-shot Voluntary Public Good Setting
○小谷浩示(Cornell University)、Kent D. Messer(Cornell University)、William D. Schulze(Cornell University)
- 5 表明選択法による情報過負荷の測定とその制御: 効果的な情報提供に向けて
○佐藤真行(京都大学)

I-2 環境経営・環境会計・環境監査(2) Room I

座長: 河野正男(中央大学) 討論者: 向山敦夫(大阪市立大学)、早瀬光司(広島大学)

- 1 環境保全策の費用便益・損失余命分析－建設発生木材リサイクルを例に－
○酒井寛二(中央大学)
- 2 環境効率と経済効率の決定要因分析
金子慎治(広島大学)、馬奈木俊介(横浜国立大学)、金原達夫(広島大学)、藤井秀道(広島大学)、○伊藤豊(東京農工大学)
- 3 環境経営における統合マネジメントシステムのあり方
○宍戸雅子(ピーエスアイジャパン株式会社)
- 4 環境会計における資産・負債概念の拡張と財務諸表環境精算表の提案
○松尾敏行(リコー)
- 5 日本企業の環境会計の動向
○梨岡英理子(株式会社環境管理会計研究所)、國部克彦(神戸大学)

J-2 環境問題と国際政治・法・経済(2) Room J

座長: 松下和夫(京都大学) 討論者: 明日香壽川(東北大学)、蟹江憲史(東京工業大学)

- 1 気候変動問題への社会構成主義アプローチ
○服部崇(経済産業省)
- 2 オーフス条約の現状と課題－環境民主主義の視点から－
○大原有理(京都大学)
- 3 国連人間環境会議: 米国の果たした役割を中心として
○真田康弘(神戸大学)
- 4 環境ガバナンス供給への「ネットワーク」の可能性－東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)を事例として
○宮崎麻美(大阪大学)
- 5 Analysis of International Environmental Agreements for Transboundary Pollution

○山本雅資(慶應義塾大学)

K-2 エネルギー・資源と環境(1) Room K

座長:松原望(上智大学) 討論者:藤野純一(国立環境研究所)、伊藤康(千葉商科大学)

- 1 環境資源の配分におけるグローバルな公正
○竹下寿英(麻布大学)
- 2 環境効率と環境資源管理制度
○藤堂史明(新潟大学)
- 3 東アジアのエネルギーセキュリティの問題構造とエネルギー・シナリオ分析
○藤井秀昭(三菱総合研究所)
- 4 持続可能なエネルギー指標環境エネルギー政策統合の評価として
○朝野賢司(京都大学)
- 5 先進諸国における長期気候安定化計画の解析
○河瀬玲奈(京都大学)、松岡譲(京都大学)
- 6 新エネルギー特措法(日本型 RPS)評価研究制度設計と木質バイオマス利用を中心に
朝野賢司(京都大学)、○小島健一郎(鳥取大学)

L-2 環境政策の国際比較・国際環境協力(2) Room L

座長:仁連孝昭(滋賀県立大学) 討論者:仲上健一(立命館アジア太平洋大学)、甲斐沼美紀子(国立環境研究所)

- 1 湿地の環境再生と維持可能な地域社会の構築に向けて: サロマ湖地域の事例分析による国際協力への示唆
○藤田香(桃山学院大学)、大塚健司(アジア経済研究所)
- 2 有機資源の地域循環システム(レインボープラン)に係る適用可能性調査~中国雲南省昆明市におけるケーススタディ~
○西村俊昭(内外エンジニアリング株式会社)、松優男(内外エンジニアリング株式会社)、仲上健一(立命館アジア太平洋大学)、周偉生(立命館大学)、寸敏(立命館大学)
- 3 中国における持続可能な流域ガバナンスに向けた国際協力ー日米中共同研究の成果からー(仮題)
○大塚健司(アジア経済研究所)
- 4 国際環境協力政策と社会的能力の形成
○岡田紗更(広島大学)、松岡俊二(広島大学)
- 5 国家間の非対称性と自己拘束的な国際環境協定
○藤田敏之(九州大学)

M-2 英語セッション Room M

座長:細田衛士(慶應義塾大学) 討論者:馬奈木俊介(横浜国立大学)、松本茂(関西大学)

- 1 Sustainable Development and Technology Transfer under WTO Agreements
○岩田伸人(青山学院大学)
- 2 Latent Influences on Forest Area Dynamics in Asia
○Amapola Dela Cruz Generosa(九州大学)
- 3 Perspective of complementary currencies and related experiences in Europe
仲上健一(立命館アジア太平洋大学)、○廣田裕之(立命館アジア太平洋大学)
- 4 廃棄物税政策が経済と環境に与える影響ーCGE分析による接近ー
○Bunditsakulchai Pongsun(東北大学)
- 5 Better Policy Makes Healthier Environment and Thus Healthier Growth in Agriculture: Bangladesh as a Case Study Country
○Anupam Saha(Shiga University)

10月10日(月) 午前の部 第1部 報告 9:00~11:20 第2部 総合討論 11:30~12:30

A-3 地球温暖化問題とその対策(3) Room A

座長: 浅野直人(福岡大学) 討論者: 高村ゆかり(龍谷大学)、周偉生(立命館大学)

- 1 フルオロカーボン類に関する国際制度と削減ポテンシャルの一考察
○花岡達也(国立環境研究所)、甲斐沼美紀子(国立環境研究所)、松岡譲(京都大学)
- 2 環境政策の分析枠組—気候変動問題に関する国際協力の実証的評価のために—
○中島清隆(広島市立大学)
- 3 ドイツにおける排出枠取引の導入・実施—日本への教訓
○渡邊理絵((財)地球環境戦略研究機関)
- 4 京都メカニズムの総括および今後の制度設計のあり方
○明日香壽川(東北大学東北アジア研究センター)、渡邊理絵(地球環境戦略機関)
- 5 京都議定書以降の気候変動対策における目標設定及び削減義務の分担に関する定量的評価
○西本裕美(京都大学)、松岡譲(京都大学)、舩岡靖明(国立環境研究所)
- 6 Soft Energy Paths in Japan: The Backcasting Approach to Energy Planning
○諏訪亜紀(ロンドン大学)

B-3 環境政策・制度の評価・比較(3) Room B

座長: 室田武(同志社大学) 討論者: 井上真(東京大学)、土屋俊幸(東京農工大学)

- 1 いかにして地方森林税は実現するのか—地方森林税の政治経済的分析—
○高橋卓也(滋賀県立大学)
- 2 入会を起源とする伝統的森林コモンズの変容—京都市山国地区における慣行共有林を事例に—
○嶋田大作(京都大学)
- 3 流域環境政策論(1)—鶴見川流域とPRTR 情報
○角田季美枝(千葉大学)
- 4 自治体環境計画の実効性向上策—目標管理の観点から
○増原直樹(環境自治体会議環境政策研究所)
- 5 八王子市地域環境評価による環境行動要因分析
田中廣滋(中央大学)、○野口智弘(中央大学)

C-3 環境経済理論(2) Room C

座長: 赤尾健一(早稲田大学) 討論者: 林宰司(高崎経済大学)、塩田尚樹(獨協大学)

- 1 Extended Kindergarten Rule and Sustainable Development
○伊ヶ崎大理(熊本学園大学)
- 2 Nonpoint Source Pollution and the Second Best Taxation on Pesticides
大沼あゆみ(慶應義塾大学)、○赤石秀之(法政大学)
- 3 Trade Ban and the Black Market: A Consideration of the Incentives for Illegal Production
○大沼あゆみ(慶應義塾大学)
- 4 環境税と消費者選好のリンケージ効果について
○鷲田豊明(上智大学)

D-3 アジアおよび途上国の環境問題(3) Room D

座長: 宮本憲一(滋賀大学) 討論者: 喜多川進(山梨大学)、外川健一(九州大学)

- 1 台湾の廃棄物政策—廃五金業者と使用済み家電のリサイクルを中心として
○村上理映(北九州市立大学)
- 2 アジアにおける循環資源貿易
○小島道一(アジア経済研究所)、寺園淳(国立環境研究所)、寺尾忠能(アジア経済研究所)、山下英俊(一橋大学)、吉田綾(東京大学)

- 3 東アジアにおける広域自動車循環型システムの評価手法の試作
 - 布施正暁(産業技術総合研究所)、鹿島茂(中央大学)、八木田浩史(産業技術総合研究所)
- 4 廃車の社会的費用と太平洋島嶼国
 - 貫真英(一橋大学)
- 5 産業構造転換と環境負荷の関係—北九州市と大連市の比較研究を中心に
 - 孫穎(京都大学)

E-3 公共事業(社会資本整備)と環境政策 Room E

座長: 戸田常一(広島大学) 討論者: 佐無田光(金沢大学)、戸田常一(広島大学)

- 1 臨海工業地域における地域再生—兵庫県尼崎市南部地域の経済機能の再生を中心に
 - 吉野貴寛(法政大学)
- 2 Urban Infrastructure Investment and Neighborhood Change
 - 田島夏与(那須大学)
- 3 燃料電池自動車(FCV)普及による環境負荷削減の便益評価
 - 板岡健之(みずほ情報総研株式会社)、齋藤文(みずほ情報総研株式会社)、赤井誠(産業技術総合研究所)
- 4 道路特定財源と環境税(社会資本整備の観点から)
 - 植村哲士(野村総合研究所)
- 5 Evaluation of Subsidy Policy of Japanese Forestry
 - 馬奈木俊介(横浜国立大学)、青柳聡史(毎日新聞社)、○祐川明子(東京農工大学)
- 6 自然再生事業における市民参画の現状と課題
 - 鈴木希理恵(フリーライター)

F-3 循環型社会・廃棄物・リサイクル(3) Room F

座長: 盛岡通(大阪大学) 討論者: 近藤康之(早稲田大学)、松本亨(北九州市立大学)

- 1 容器包装リサイクル市場と制度の経済分析
 - 栗田郁真(京都大学)
- 2 リサイクル法制度の実態評価の類型とアプローチ
 - 田崎智宏(国立環境研究所)
- 3 消費者の生活時間を考慮した環境負荷の分析: 「消費技術」と廃棄物産業関連モデル
 - 高瀬浩二(静岡大学)、近藤康之(早稲田大学)、鷲津明由(早稲田大学)
- 4 グローバルリサイクルにおける消費者の排出抵抗感に関する評価研究
 - 鈴木芳幸(株式会社 CSK)、小泉國茂(立命館大学)、周偉生(立命館大学)、小幡範雄(立命館大学)
- 5 容器包装リサイクル法によるリデュース、リユース、リサイクル効果
 - 諏訪竜夫(北海道大学)、碓井健寛(北星学園大学)
- 6 ごみ処理有料化制度のごみ減量効果に関する検証
 - 河口政生(アクセンチュア株式会社)、日引聡(国立環境研究所)、島根哲哉(東京工業大学)

G-3 ミクロ・メゾ・マクロ環境会計とその関連 Room G

座長: 水口剛(高崎経済大学) 討論者: 山本信幸(森林総合研究所)、有吉範敏(長崎大学)

- 1 中国におけるミクロ・マクロ環境会計と単純化したグリーン GDP の一試算
 - 増田信彦(富山大学)
- 2 メゾ環境会計における持続可能性評価指標の開発: EFとデカップリング指標による地域農業の持続可能性
 - 高橋義文(農林水産省)、林岳(農林水産省)、山本充(小樽商科大学)
- 3 Capability Map の地域環境ストック指標への応用
 - 杉原弘恭(日本政策投資銀行地域政策研究センター)、生駒依子(日本政策投資銀行地域政策研究センター)、山

下潤(九州大学)

4 廃棄物環境会計の枠組みとその利用

○田畑智博(名古屋大学)、文多美(名古屋大学)、白川博章(名古屋大学)、井村秀文(名古屋大学)

5 エコタウン事業を評価するマテリアルフローコスト会計の提案

○柴田学(北九州市立大学)、松本亨(北九州市立大学)

6 バイオマス環境会計の構想

○八木裕之(横浜国立大学)、金藤正直(横浜国立大学)

7 組織の戦略的な環境活動を促す環境効率指標

○岡野雅通(大阪大学大学院)

8 サステナビリティ会計の体系

○國部克彦(神戸大学)

H-3 環境評価と環境資源勘定(3) Room H

座長: 矢部光保(九州大学) 討論者: 佐藤真行(京都大学)、坂上雅治(日本福祉大学)

1 離散選択型トラベルコスト法による紅葉期登山者の目的地選択モデルの構築

○庄子康(北海道大学)、栗山浩一(早稲田大学)

2 エコツアー参加者はどんなツアーを望んでいるのかー知床国立公園における実証分析ー

○柘植隆宏(高崎経済大学)、庄子康(北海道大学)、宮原紀壽(三菱総合研究所)、藤原千尋(知床財団)

3 CVMの調査設計、個人属性とアンカーリングの関係

○加藤尊秋(東京工業大学)、肥田野登(東京工業大学)

4 健康リスクのトレードオフと辞書的選好

○岸本充生(産業技術総合研究所)、柘植隆宏(高崎経済大学)、竹内憲司(神戸大学)、小俣幸子(産業技術総合研究所)

5 大気汚染に関連する3種類の疾病リスク削減に対する支払い意思額の調査

○齋藤文(みずほ情報総研株式会社)、板岡健之(みずほ情報総研株式会社)、赤井誠(産業技術総合研究所)

I-3 環境経営・環境会計・環境監査(3) Room I

座長: 小幡範雄(立命館大学) 討論者: 松尾敏行(株リコー)、小幡範雄(立命館大学)

1 大阪府における中小企業の省エネルギー取組の現状と課題

○岡村薫(大阪府立産業開発研究所)、小野顕弘(大阪府立産業開発研究所)、坂田裕輔(近畿大学)

2 地域環境通貨事業のLCA評価とその有効性について

永田勝也(早稲田大学)、小野田弘士(早稲田大学)、永井祐二(早稲田大学)、片野光裕(早稲田大学)、河合浩利(早稲田大学)、梶原順(早稲田大学)、○金子正(早稲田大学)、松岡俊和(北九州市)、関宣昭(NPO 里山の会)

3 環境負荷削減実践が経済効果を引き起こすメカニズム: 資源依存の企業観(RBV)から

○謝双玉(広島大学)、森下美世子(広島大学)、早瀬光司(広島大学)

4 企業による環境管理手法実施のインセンティブに関する計量分析

日引聡(国立環境研究所)、有村俊秀(上智大学)、○朝田航也(東京工業大学)

5 企業の環境活動が銀行の貸付金利に与える影響の定量分析

○大原伸介(東京三菱銀行)、日引聡(国立環境研究所)

K-3 エネルギー・資源と環境(2) Room K

座長: 石川雅紀(神戸大学) 討論者: 伊坪徳宏(武蔵工業大学)、井村秀文(名古屋大学)

1 資源供給という側面から見た国際資源循環の分析ー金属資源の事例からー

○村上進亮(国立環境研究所)、阿部直也(国立環境研究所)、寺園淳(国立環境研究所)、森口祐一(国立環境研究所)

2 自動販売機における運用の高度化に関する研究(自販機の運用段階におけるLCA)

小野田弘士(早稲田大学)、永田勝也(早稲田大学)、新見大(早稲田大学)、○長谷川功(早稲田大学)、本田麻衣(早稲田大学)

- 3 RPS 法における再生可能エネルギーの最適利用量について
○大平佳男(法政大学大学院)
- 4 紙・パルプ産業におけるエネルギー消費の決定要因—省エネ法マイクロデータによる分析—(仮題)
○伊藤康(千葉商科大学)、寺尾忠能(アジア経済研究所)
- 5 外部性を考慮した電源評価(副題:LCAを用いた電源評価)
○中村敬史(長岡技術科学大学)、李志東(長岡技術科学大学)
- 6 資源・環境指標の算定基盤としての物質フロー分析の課題
○森口祐一(国立環境研究所)

L-3 持続可能な発展 Room L

座長: 植田和弘(京都大学) 討論者: 古沢広祐(國學院大學)、野上裕生(アジア経済研究所)

- 1 持続可能な「人間満足度尺度(HSM=Human Satisfaction Measure)Ver. 2」の構築とHDI(Human Development Index)との比較
○大橋照枝(麗澤大学)、ホン・グエン(東京大学)
- 2 経済・社会・環境指標の相互関係把握に関する分析—持続可能な発展への政策適応へ向けて—
○佐々木健吾(京都大学)
- 3 持続可能な日本のフレームワークと指標の研究
○多田博之(ジャパン・フォー・サステナビリティ)
- 4 「持続可能な発展」指標の将来を推計する:地球資産のフローとストック
○時松宏治(産業技術総合研究所)、小杉隆信(立命館大学)、黒沢厚志(エネルギー総合工学研究所)、八木田浩史(産業技術総合研究所)
- 5 都市の持続可能性についての総合評価法の開発に関する考察
○若井郁次郎(大阪産業大学)、小幡範雄(立命館大学)、花嶋温子(大阪産業大学)

M-3 地域資源管理 Room M

座長: 倉阪秀史(千葉大学) 討論者: 除本理史(東京経済大学)、諸富徹(京都大学)

- 1 Interregional Spillovers, Labor Attachment, Proportionally Equitable and Efficient Federal Structure
○青山直人(広島大学)、エミルソン・シルバ(チューレン大学)
- 2 土壌汚染による土地の遊休化に関する研究—土地価格と土壌汚染対策費用の関係から—
○保高徹生(横浜国立大学・国際航業株式会社)、牧野光琢(水産総合研究センター中央水産研究所)、松田裕之(横浜国立大学)
- 3 漁業管理から生態系管理への拡張に向けた制度・経済分析の課題
牧野光琢(水産総合研究センター中央水産研究所)、○松田裕之(横浜国立大学)
- 4 「福祉国家」から「緑の福祉国家」へ:スウェーデンの転換戦略
○小澤徳太郎(静岡県立大学)
- 5 内発的発展論に関する考察—環境主義言説としての可能性—
○金基成(山梨大学大学院)

学会設立 10 周年記念特別シンポジウム

テーマ「これからの環境経済・政策研究—その課題と方法」

(司会進行) 寺西俊一(一橋大学)・栗山浩一(早稲田大学)

13:40~14:20(40分) 【特別講演Ⅰ】

* 宮本憲一(大阪市立大学名誉教授) 「ストック公害・環境問題と責任」

14:30~15:10(40分) 【特別講演Ⅱ】

* 柴田弘文(大阪大学名誉教授) 「環境制御:規制、交渉、経済的手段、その他の間で」

(小休憩) (20分)

15:30~16:10(40分) 【特別講演Ⅲ】

* 天野明弘(兵庫県立大学副学長) 「貿易・環境政策の国際的統合化を求めて」

16:20~16:50(30分)

* フロアからの質疑と応答(30分)

17:00: 閉会

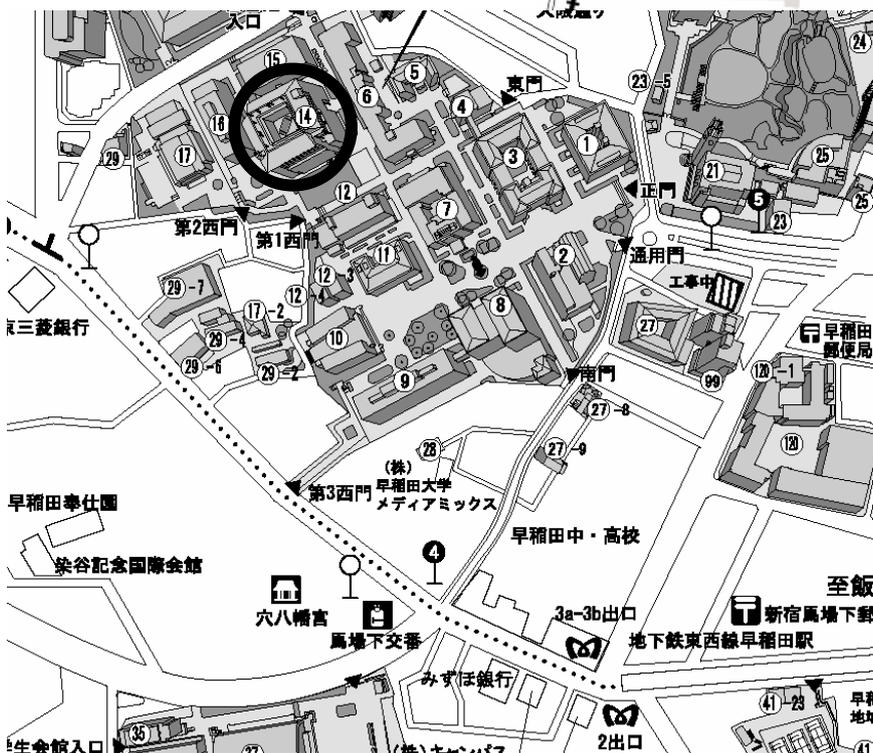
敬称略

会場

早稲田大学西早稲田キャンパス14号館 169-8050 新宿区西早稲田 1-6-1 TEL 03-3203-4141 代表

交通のご案内

- ◇JR山手線・西武線 (高田馬場駅 徒歩 20分)
- ◇地下鉄 (早稲田駅 徒歩 5分)
- ◇バス (高田馬場駅 - 早大正門)
- ◇都電 (早稲田駅 徒歩 5分)



Society for Environmental Economics and Policy Studies

大会実行委員

栗山 浩一(早稲田大学)

赤尾 健一(早稲田大学)

近藤 康之(早稲田大学)

プログラム委員

寺西 俊一(一橋大学)

鷺田 豊明(上智大学)

栗山 浩一(早稲田大学)

赤尾 健一(早稲田大学)

近藤 康之(早稲田大学)